

大会競技規則

少年の部（幼年・小学生・中学生）

1. 試合方法

- ・ 3 本勝負（2 本先取した者の勝ち）とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦のみ、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の 1 本勝負の延長戦により勝敗を決する。
- ・ 警告は 2 回をもって相手に一本を与える。
- ・ 肘や膝へのサポーターは綿の入っていないものは認める。

2. 試合時間

- ・ 試合時間は 1 分 30 秒とする。

3. 顔面への攻撃は全て「空撃」で当てない。又、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。

4. その他は、日本拳法全国連盟競技規則の日本拳法少年部競技規則に則って行う。

一般男子、高校男子、高校一般女子の部、壮年

1. 試合方法

- ・ 3 本勝負（2 本先取した者の勝ち）とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦のみ、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の 1 本勝負の延長戦により勝敗を決する。

2. 試合時間

- ・ 一般男子（有段）の試合時間は 3 分間とする。
- ・ 一般男子（段外）、高校男子、高校一般女子、壮年の試合時間は 2 分間とする。

3. その他は、日本拳法全国連盟競技規則に則って行う。